

## ■申酉天中殺との人間関係

午未天中殺にとって、申酉天中殺は、会社の部下とか弟とか……自分の目下に持ったら最高の相性と言って良いでしょう。

だいたい、午未天中殺と、申酉天中殺の相手とは非常にバランスのとれた状態をつくりだせる相性なので「南」「西」の欠けがお互いを補いあう傾向を生み、ある意味で相性の良い発展的な関係と言える訳です。部下として午未天中殺が申酉天中殺の相手を「使いやすい」と言う事ではありません。もっと積極的な意味で、自分を押し上げて呉れるパワーがある相性なのです。

申酉天中殺というのは、非常に強い力をもった星です。六つの天中殺のうち、寅卯天中殺に次いで二番目ぐらいのパワーを持っている星と思って良いでしょう。

たとえば、午未天中殺が10ぐらい働くとしたら、同じ労力を使っても、申酉天中殺は20ぐらい活動が出来るのです。

ですから、こういう部下を持つと、自分ではあまり働かなくても、申酉天中殺の部下がバリバリと仕事をしてくれます。その功績で午未天中殺が出世できる……という形が出て来ます。

よく、「あの人は部下のおかげで出世できたんだよ」などと言われる午未天中殺は、たいがい申酉天中殺の部下をもっています。

女性でも同じ事です。ワインのセールスをチームで進めている会社でのケースですが、初めて女性の営業所長(午未)が誕生しました。ところが、なんとこのチーム5人の中に3人も申酉天中殺の女性アシスタントがいたのです。

その3人が積極的に大口の顧客を開拓して、チーム売上げナンバー・ワンが何回も続いて、その功績が認められ、所長が一躍重役に抜擢されたというわけです。

このくらい、申酉天中殺の部下と言うのは、午未天中殺には非常に頼りになる相性なのです。

ただし、非常に神経が細かくて、多少猜疑心の強い午未天中殺は、しばしばこれだけ頼りになる申酉天中殺の人に大らかに出来ない……「こいつにやられるのではないか、先を越されるのではないか」といった考え方を抱きやすいのです。申酉天中殺というのは、異常なくらい目上を尊敬するし、上司を追い抜こう等とは考えないのです。ですから、午未天中殺が大らかに受け止める事が出来さえすれば最高の部下になるのです。

結婚の相手としてみた場合、午未天中殺にとって、申酉天中殺というのは、物質的な成功はもたしますが精神的なつながりは少ない相性になりやすいのです。出会った当初は、互いに惹かれあうものが多く、よく気も合います。ところが、だんだん深く知り合うとか、生活が長くなるにつれて、喜んだり悲しんだりする対象が違っている……そういう価値観のズレが生じやすいのです。

お互いに助け合って成功者になった老夫婦が、他人からは「二人でやり遂げた」と評されていても、実は老後になって、お互いそっぽを向いている、と言うような形はこの組み合わせに多くみられます。